

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

住まいづくりの家

グループの名称

住まいづくりクラブ

直近採択グループ番号

05-0003-0806

(グループ代表者)

代表者名

中澤 弘

代表者印

代表者所属先

中澤行政書士事務所

代表者所在地

京都府京都市中京区玉蔵町121 美濃利ビル314号

代表者電話番号

090-6752-1955

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社スペースフリー

事務局担当者名

三宅 秀平

印

事務局郵便番号

603-8333

事務局所在地

京都府京都市北区大將軍東鷹司町232-2

事務局電話番号

075-406-5077

事務局FAX

075-406-5078

事務局担当者E-mail

syuhei@spa-fre.com

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		28	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	21	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		4	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	3	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		32	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	26	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		5	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	4	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	65棟							
			5500㎡							
		申請が未確定	70棟							
			6000㎡							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	事務所への補助金活用の報告が先着順に配布する。 同日に報告された場合は、未経験施工者を優先する。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 住まいづくりの家	(地域型住宅供給対象地域) 京都、大阪、滋賀、奈良(及び隣都道府県)
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 住まいづくりクラブ	(結成年) 2015年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	05-0003-0806	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	地域ごとにある特有の寒暖差の激しい気候に対応できるよう、断熱性能を強化すると共に、冷暖房、給湯、照明設備など様々な設備機器の性能も重視する。 また、近年に於いては、地震の発生が危惧されている事もあるので、木造住宅の耐震性能の強化も重視する。	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	許容応力度計算により、耐震性能2等級以上にする事を確認する。 木材は安定した品質の集成材を70%以上使用することを義務付ける。 断熱性能に於いては、第三者機関(瑕疵担保保険を運用する保険法人)のプログラムを使用することで性能を確認する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	お施主様の意見を聞きながら、地域の街並みに馴染み断熱性能・耐震性能の優れたデザインを提案する。	◎
④①～③の背景	山に囲まれた盆地や、都心部のヒートアイランド現象など、激しい寒暖差のある気候に対応できる住まいの造るために、断熱性能を高めます。 更に近年各地で、地震の発生が多くなり耐震性に対しての意識が高まっているため耐震性能を高める必要があるため。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a. ①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループにおける施工方法や、商材を記載したガイドラインを作成・配布し、グループ内で共有する。	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 合法木材認証制度の証明がされている海外の木材を使用する。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 各構成員の建材・資材調達の流通は自由とするが、全ての流通情報を事務局が管理することにより、グループ内で共同購入できる物については情報を公開し、コスト削減をする	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: プレカット業者から材料を仕入れることで、コストを下げる。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構成員内にてグリーン化事業に関しての技術、知識や労働生産性の向上を図る情報を交換する。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員の各種申請や構造計算等は、事務局が指定したプログラムを使用することで一本化を図る。	○
b. ① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築士による性能面を中心とした独自のチェックシートにより構造時、及び完成時の検査を行う。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループにおける施工方法や、商材を記載したガイドラインを作成・配布し、グループ内で共有する。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ホームページなどでグリーン化事業を告知することで、地域住民に広く知って頂き、地域住宅を担う構成員内の工務店の信頼性を高める。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 住まいづくりの家	(地域型住宅供給対象地域) 京都、大阪、滋賀、奈良(及び隣都道府県)
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 住まいづくりクラブ	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	05-0003-0806	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a グループ構成員全体で行なう		
① 住宅履歴情報の蓄積		○
①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理委員会または、第三者機関、施工者が住宅履歴情報を管理し、各構成員と情報を共有する。	○
①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 活用するが、維持管理委員会または施工者が行う場合もある。	○
①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工業者・維持管理委員会で、情報の共有を行い確認する。	○
② メンテナンス基準の整備		
②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検の時期をグループ内で統一する。(5年、10年、15年、20年～)	○
②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工業者もしくは外部保証機関による検査を行い、現状の状態によって補修する。	○
②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局から点検時期を事業者に知らせ、点検補修を行った事業者は結果を事務局へ報告する。	○
③ 住まいの管理		
③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験の構成員の不安や疑問に対処するため、事務局がパンフレット等を配布し、勉強会を行う。(年6回を目安にする)	○
③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員にイベント等の定期的な開催を促す。(年3回を目安にする)	○
③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 随時、事務局にて相談を受け付ける。	◎
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報の管理や点検時期を知らせるため、維持管理委員会を設置する	○
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員の住宅履歴情報を、維持管理委員会および第三者機関が管理することで、効率的に住宅メンテナンスの後を引き継ぐ。	◎
② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験の構成員の不安や疑問に対処するため、事務局がパンフレット等を配布し、勉強会を行う。(年4回を目安にする)	○
②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 図面・工事写真・認定書の写し等を維持管理委員会へ必ず送り確認を受ける。	○
②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で上記の書類を確認・保管をする。	○
③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建物のリノベーションやリフォーム提案を、建築計画予定者に対し定期的なダイレクトメールなどで通知する。(年1回を目安にする)	○
③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネルギー基準義務化に向け、長期優良住宅・認定低炭素住宅の施工経験を積み、2020年に対応出来る事業者を増やす	○
④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内にて、建築予定者の情報を交換し、より必要としている情報をダイレクトメールの内容に取り入れる。	○
b		
①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 5 今年度の参加目標人数 7	
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 0	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 講習会開始時期を知らせ、参加を促す。	○
c		
① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 住まいづくりの家	(地域型住宅供給対象地域) 京都、大阪、滋賀、奈良(及び隣都道府県)
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 住まいづくりクラブ	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	05-0003-0806	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

長期優良住宅・ゼロエネルギー住宅の知識と経験が豊富な、設計事務所が事務局を務める事で、省エネルギー性や耐震性能に関しての知識と経験を未経験の施工業者に伝え、疑問や相談に答えるので、正しく施工を行える環境が整っている。

本グループでは、下記の事項を提案する。
認定低炭素住宅は、エアコンをつけなくても快適に過ごせる断熱性能を持った住宅。
ゼロエネルギー住宅は、BELSの星4つをとれる性能を持つ住宅。
HEMS又はBEMSの導入。